

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立科学館
所管課 教育委員会 社会教育課
指定管理者 山梨科学推進グループ
構成団体 株式会社テレビ山梨、株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー、株式会社デジタル・アンド・デザイン・ピクチャーズ

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)	
財団法人山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	1,061,329,000
公益財団法人山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	1,741,822,000
公益財団法人山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	1,643,575,000
山梨科学推進グループ		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	1,224,283,837
山梨科学推進グループ		R5.4.1	～	R9.3.31	4年	1,253,179,000

2 施設の概要

所在地	甲府市愛宕町358-1
設置年月日	平成10年7月20日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する
主な業務の内容	1. 利用の承認に関する業務 2. 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 3. 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 4. 科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:1,194㎡ ○建築延面積:6,497.61㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨・一部木造) 地下1階、地上3階 ○施設の内容 展示室・多目的ホール・あそびの部屋 2,568㎡ スペースシアター 693㎡(定員151席) 実験・工作室 328㎡ 天体観測室・展望テラス・サイエンスショールーム・エントランス等 2,909㎡
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	R4.3.16 エレベーター棟設置等工事(24,071,300円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	339,837,000	359,748,828	371,898,389	374,221,078	386,688,936	
支出合計	340,167,000	359,713,904	372,074,044	368,572,682	386,597,342	
収支差額	△ 330,000	34,924	△ 175,655	5,648,396	91,594	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	71,267人	103,870人	142,003人	149,524人	186,271人	
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

愛宕山こどもの国全体の利用者の増加傾向が続く中で、これまでの繁忙期間だけでなく、週末や祝日にも園内の駐車場が満車になるケースが頻発している。臨時駐車場の開設や無料シャトルバスの運行、警備員の配置等の対応を進めているが、経費の増加とともに、アンケートや窓口でのクレーム等も増加した。特にGW期間中のマイカー締め出しによる利用者数の極端な落ち込み(前年度比で約23%減)は収入面でも大きなマイナスとなった。

こうした一方で、利用者要望を取り入れたプログラム開発や継続的なサイエンス屋台の開催、HPやSNSでの効果的な発信、イベントごとのテレビ・ラジオCMによる隣接エリアへの告知PRや首都圏エリアへの新聞広告等に取り組んだ結果、コロナ5類移行後の観光需要等の上昇傾向も受ける形で、利用者数は目標値を上回ることができた。電力や燃料関係をはじめとする物価の高騰や駐車場対策等、課題は多いが、引き続き安心・安全な管理運営を基本に取り組んでいく。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

前年度に引き続き、利用者にとって安全安心な見学・体験学習環境の整備を心掛け、利用者目線を持ったきめ細かい施設運営に努めている。

今年度は、令和5年度から続く、こどもの国・科学館の共有駐車場及び周辺道路への渋滞問題等に対し、臨時駐車場や無料シャトルバスを活用するなど工夫を凝らして対応を継続している。特にGWの一般車両の利用規制により、利用者数や収益が大幅に減少(収益は前年度比で約20%減)したが、年間収益は令和5年度を上回り、利用者満足度も高い水準を維持する運営は大いに評価に値する。

また、指定管理者として、必要な点検・報告は適切に行われていた。さらに、科学教育に関する事業の実施に関しても、業務計画書のとおり実施され、適正に運営している。

一方で、シャトルバスの運行については利用者の待機時間のばらつきなどの課題があることから対策を検討し、より良い運営に努めているよう要請した。また、様々な年齢層の利用者ニーズに対応すべく、既存のプログラムや科学実験・工作のメニューの見直しと新規開発を積極的に要請した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

シャトルバス運行に伴う利用者の待機時間のばらつき等の問題は、委託先の旅行会社とも調整を図りながら、問題解消に向け取り組んでいく。

利用者ニーズへの対応については、アンケート結果や要望等を基に、既存のプログラムやメニューの見直しに積極的に取り組み、新規メニューの開発や、プログラムのレベルアップ等をつなげていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立科学館

所管課 教育委員会 社会教育課

指定管理者 山梨科学推進グループ

構成団体 株式会社テレビ山梨、株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー、株式会社デジタル・アンド・デザイン・ピクチャーズ

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	入館者	71,267	103,870	142,003	149,524	186,271
	(うちスペースシアター観覧者)	(23,225)	(37,629)	(41,563)	(42,451)	(57,635)
	(うち学習利用者)	(8,535)	(11,066)	(11,717)	(12,578)	(13,755)
	(参考:主催事業参加者)	(100,357)	(149,016)	(215,188)	(208,697)	(230,339)
	利用者数合計	71,267	103,870	142,003	149,524	186,271
	目標値	186,640	162,580	190,620	145,300	174,300
	実績/目標割合	38.2%	63.9%	74.5%	102.9%	106.9%
	目標値の設定方法	平成30年度の実績数字を基に、弊グループ内企業の運営する他施設の実績等を加味して設定				
利用率	稼働率等(利用率)	265人/日	343人/日	438人/日	461人/日	575人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数÷開館日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県	展望テラス塗装工事	14,184,500
県	円形広場展望ブリッジ改修工事 外5件	8,647,251
管	トップライトガラスひび割れに伴う取り換え工事	599,500
管	レストラン給湯器取り換え	385,000
管	常設展示修繕(サッカーコーナー他) 外22件	1,981,206

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	随意契約	売上の20%・30%	467,427	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	339,837,000	359,748,828	371,898,389	374,221,078	386,688,936
	施設利用料	19,214,374	29,606,500	35,509,090	39,807,910	49,812,510
	指定管理委託料	296,198,000	300,144,553	299,682,882	307,046,982	303,124,753
	追加委託料(感染症)	11,361,207	9,149,571	7,430,000		
	事業収入	5,138,514	8,871,520	13,769,299	11,449,970	14,082,160
	自販機収入	211,314	277,888	276,676	363,195	467,427
	レストラン収入	517,000	822,000	1,056,000	968,000	1,056,000
	売店収入	6,220,454	10,734,229	14,105,971	12,262,945	16,194,420
	その他(雑収入他)	976,137	142,567	68,471	2,322,076	1,951,666
支 出	B 支出額計	340,167,000	359,713,904	372,074,044	368,572,682	386,597,342
	人件費	116,143,726	129,632,290	130,603,905	154,073,882	155,292,020
	修繕費	1,625,695	2,679,610	2,719,915	2,288,130	2,965,706
	光熱水費	12,194,643	15,607,684	21,346,502	22,475,295	23,939,970
	諸謝金	352,320	397,021	447,924	208,115	682,957
	旅費交通費	127,746	132,628	167,878	333,848	328,529
	消耗品費	6,687,467	11,138,385	10,875,676	14,253,254	11,121,801
	燃料費	3,562,413	5,334,089	6,143,964	8,466,467	8,508,678
	印刷製本費	5,442,031	6,933,639	6,187,581	6,108,804	7,095,288
	通信運搬費	4,204,419	4,203,770	3,899,958	2,647,833	4,706,824
	広告料	7,664,063	9,680,811	10,343,080	10,910,900	10,748,249
	使用料	39,350,526	31,477,643	31,716,365	21,750,801	21,851,699
	租税公課	5,724,575	2,829,745	2,797,979	3,188,673	2,438,096
	食糧費	175,482	246,087	202,518	234,563	293,232
	保険料	125,770	265,363	221,386	144,830	174,700
	負担金	41,375	41,375	45,375	61,855	58,865
	本部経費	15,219,353	20,221,000	20,567,000	22,005,262	20,022,511
	ショップ原価	4,256,352	7,146,107	9,450,072	9,467,870	12,619,544
	その他(雑費)	170,181	187,185	211,205	1,015,637	1,352,760
	外部委託費	117,098,863	111,559,472	114,125,761	88,936,663	102,395,913
	清掃業務	13,094,552	13,226,840	13,226,840	13,226,840	13,226,840
	空調保守点検	2,232,300	3,082,200	3,082,200	3,082,200	3,082,200
	プラネタリウム保守点検	4,685,897	4,685,897	4,685,897	4,685,897	4,685,897
	企画展委託業務	13,537,733	14,793,762	19,927,589	20,731,177	30,919,936
	プラネタリウム番組制作費	26,680,000	32,035,000	22,225,000	19,965,000	19,965,000
	展示物保守点検	584,712	652,000	1,528,850	1,184,050	1,073,050
	その他	56,283,669	43,083,773	49,449,385	26,061,499	29,442,990
	外部委託率	34.4%	31.0%	30.7%	24.1%	26.5%
	県への納付金					
収 支 差 額 (A - B)		△ 330,000	34,924	△ 175,655	5,648,396	91,594

一人当たり指定管理者委託料*	4,156.2	2,889.6	2,110.4	2,053.5	1,627.3
----------------	---------	---------	---------	---------	---------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	330,000		220,000	550,000	1,012,000
D 支出額計					
収 支 差 額 (C - D)	330,000		220,000	550,000	1,012,000

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	プラネタリウム番組配給事業	一般	科学館
2	企画展「昆虫キングダム」二次使用事業	一般	科学館

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	令和6年4月～令和7年3月 来館者、各プログラム参加者等に対する筆記式アンケート調査 利用者数185,271名中:7,849件 団体及び学習利用者:316件			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
スペースシアター	78.5%	19.5%	2.0%	
実験教室	88.0%	11.5%	0.5%	
工作教室	87.5%	10.5%	2.0%	
こどもクラフト	88.5%	10.5%	1.0%	
プログラミング教室	94.0%	5.5%	0.5%	
施設全般の満足度	83.5%	16.0%	0.5%	
利用者の主な意見	【管理・運営】 ①イベント、プログラム等のネット予約の導入 ②展示設備のリニューアル、休止展示の再開 ③土日祝や繁忙期の駐車場の混雑解消 ④レストランメニューの充実、多様化 【プログラム・イベント】 ①専門性の高い番組や大人向け番組等の導入 ②プログラムメニューの高度化、多様化 ③季節イベント、特別イベント等の増加 ④開催枠の増加他			
利用者の意見への対応	【管理・運営】 ①ネット予約システムの導入の検討 ②メンテナンスの充実、計画的な修繕実施等による休止展示の早期再開 ③土日祝日の交通警備の増員。繁忙期の臨時駐車場開設とシャトルバス運行 ④レストランメニューの充実とキッチンカー等の導入 【プログラム・イベント】 ①大人限定イベント開催や季節イベント連動プログラムの充実 ②プログラミング教室への高度なメニューの導入・プロの指導者による専門的なプログラムの開催 ③シーズンイベントの全館的な展開 ④開催枠の増加は現状では難しいため、サイエンス屋台の開催や自由参加イベント等の開催で対応していく 他			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	安全・安心な管理・運営を第一に、引き続き感染症対策にも取り組みながら、利用者の増加傾向に対応した。施設、設備の老朽化が著しいなか、日常的なメンテナンスや定期点検等を通じて維持管理を徹底した。	法定点検業務等、施設の管理業務について、業務仕様書・業務計画書に基づき適正に実施されている。 また、メンテナンスや点検結果を基に、施設の修繕や設備更新について、所管課と情報共有を行いながら、優先順位をつけて取り組んでいる。引き続き、施設の長寿命化や管理運営に努めてもらいたい。
運営業務	利用者の増加傾向の中で、プログラムの多様化、高度化等に注力しながら、幼児から高齢者までより幅広い層に楽しんでもらえるよう管理・運営に取り組んだ。要望の多いネット予約導入については、費用面やキャンセル対応等の課題も多く、引き続き検討を進めていく。	令和6年度から既存事業である大村賞顕彰事業の発展的な取り組みとして「未来の科学者育成ラボ」をスタートするなど科学教育の普及促進にも積極的に取り組んでいる。 また、更なる利用者満足度の向上を図るため、ネット予約についても、引き続き検討を進められたい。 今後も利用者のニーズに合わせた新規企画・運営業務の見直しを積極的に行ってもらいたい。
利用状況	土日の交通警備員の増加や繁忙期の臨時駐車場開設、シャトルバス運行等、駐車場問題に積極的に対応する一方で、テレビ・ラジオCMやSNSの積極的な活用、隣県・隣接エリアへの告知PRへの取り組む中、外部イベントへの積極的な参加等も含め、入館者数は目標を上回る結果となった。	駐車場問題については、関係機関と連携をとりながら対応し、一般車両の駐車規制による利用者の大幅な減少があったものの、令和5年度を上回る利用者数を達成したことは高く評価できる。 引き続き、メディアやSNS等を利用し、積極的に行いながら、利用者数の増加を図るとともに、価値の高いサービスを提供できるような運営を期待する。
収支状況	引き続き、燃料価格をはじめとする物価の高騰等による収支の悪化状況が懸念される中、業務の効率化や経費の削減にも取り組み、収支状況に悪影響を与えないよう、管理運営した。駐車場対応に伴う外部委託料の増加等、今後に影響が出る可能性のある課題もあるが、収支とのバランスも考慮しながら、対応していく。	物価高騰等による経費の増加がある中で、工夫を重ね、利用者サービスの向上や経費削減に取り組むなどの経営努力は評価できる。 引き続き、必要経費について、日頃から見直しを行い、適切な運営を務めてもらいたい。
自主事業	全国的に観光需要やイベント開催の回復が進み、番組やイベント企画の需要も大きく回復する中、積極的な営業活動により、番組配給や企画展二次使用の売り上げの増加につなげた。	プラネタリウム自主制作番組を配給することで売上の増加に繋げ、科学館の運営業務に活かしている。 今後も、利用者ニーズの取り込みに努め、満足度を高めるとともに、科学への興味関心を深める取り組みを継続していくこと。
利用者満足度	各プログラムとも、引き続き高い満足度を保っている状況で、利用者ニーズや最新の動向を積極的に取り入れた取り組みが評価された結果と考える。引き続き展示施設のリニューアルや駐車場の混雑解消等に多くの要望が寄せられている状況を踏まえ、こうした課題の解決に積極的に取り組んでいく。	施設全体の満足度の割合が99.5%と高い評価を得ていることから、引き続き利用者アンケートの回答をもとに魅力あるプログラムを提供することで、満足度を維持する工夫をしていくこと。 併せて、駐車場混雑についても一定の成果はあるものの課題もあるため、今後も安心安全な施設管理に積極的に取り組みこと。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
冬季(12～2月)の利用者確保	【目標値】 26,976人(前年度利用者数×1.05) 【実績】 27,843人。達成率103.2%	冬期の利用者を確保するための事業を展開し、目標値を上回り達成することができた。今後も利用者確保となる運営・新規企画等の取り組みを実施すること。
科学教育に対する多様な事業の実施	【指標】 年間の企画展イベントの実施回数 【目標値】 年間4回 春・GW・夏・秋～冬(お正月) 【実績】 4回 達成率100% 春～GW(連続開催):「クレヨンしんちゃんバーチャルサイエンスランド」9,034人 GW:開館25周年世界の偉人とめぐる科学館ツアー 4,198人 夏:「恐竜センター」 37,516人(2019年以降で最多) 正月:「科学甘菓子展」 8,004人	目標値を達成しているが、引き続き、利用者アンケートからニーズを考察し、企画展やサイエンスショー(実験工作)などプログラムの新規企画・実施回数の増加等、積極的に取り組むこと。
科学教育を目的とした事業の実施(工作教室)	【目標値】 7,083人(前年度利用者数×1.05) 【実績】 6,991人。達成率98.7%	第1四半期が入館者数に比べて利用者が少ないため、事業の内容・回答を精査して改善に努める。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

